

兒童心理學文獻抄 十七

牛 島 義 友

童 話

子供は話が好きである。手に負へないいたづらつ子も「さあこれから御話ですよ」云へば急においたを止めて先生の周りに集り、真妙な顔付をして先生の口元を見詰める。

又先生やお母さんの御話を聞き度がるのみならず自分もよく話し、熱心な聴衆を要求する。生半かな返事や、他事に心が奪はれて居るに何度も大きな聲を出したり、衣服を引張つて聴手の注意を惹いてをいてから語り出す。お話こそ子供の内生活と外生活との通話器であり之によつて子供は智慧付き、想像力を養つて行く。又子供にお伽噺を語る事は古くからの習慣でブラトンはその國家論に於て神話を物語る事によつて子供を教育せよと説いて居る。

故に子供の聞き度がる話即童話を研究する事は子供の表象世界を知る上からも、又子供を正しく導いて行く上からも、必要な事である。ヴントは童話の特性として三つのものを上げて居る。

- 一、誇張性 遠いく國、小さい一寸法師と云ふ風に距離、量、大さ等は極端に誇張されて語られる。
- 二、恐怖、歡喜を起さすものが好まれる。巨人、一寸法師、魔法使ひ、猛獸、お姫様、妖魔等極端な快、或は不快の感情を喚起させるものが登場する。
- 三、奇蹟、魔法を喜ぶ。

斯様な特性を具へた童話は大人の喜ぶ小説や戯曲と大分趣が異なる。此童話を分析して行くに興味ある研究が出来そうである。日本民族の有じて居る様々の物語から日本精神

の原始的形態が闡明されるであらう。併し茲ではグリムの童話を中心として行はれたビュラー夫人の優れた研究を紹介しよう。

ビュラー 兒童のお伽噺の想像 Ch. Bühler: Das Märchen und die Phantasie des Kindes. Beihefte z. Zeit. angew. Psychol. 17 1918

女史は先づお母さん達へ子供がどんなお伽噺を好むか、其好みは何時頃から生じ、又消滅したかを質ねたのであるが、其結果獨逸の上流の子女では四歳から八歳までがお伽噺の時代であるが、中流以下の處では、十二、三歳になつても尙お伽噺に熱中してゐる子供が多い由である。故に此お伽噺の時代は精神發達の一時期であつて何人も此期を経過するが、他方餘り久しく此時期に止る事は感心しない。

子供はいきなりお伽噺を好む様になるか云ふにそうではなく、其以前に *Struwwelpeter* 時代も名付けられる時期がある。之は三四歳の幼兒の好む書物の名前であるが、梳らない亂れ髪の子云ふ意味で幼兒の日常生活に關した色々な事、食事や遊びや睡眠に關した事が面白く物語られ

て居る。此頃の幼兒は毎日の習慣的出來事、お言付け等に關心して居るので、之に關した話を好む。自分と關係の無い様な話には注意せず、「次郎ちゃんと同じ位の或子供が」云話し始めるの興味を持つ。或お母さんは「うちの子供は私が自分で考へ出し乍ら子供と結び付けて話をするの喜んで聞きます」云語つて居る。例へば子供が冬になるのを暖めないで凍傷になつて困るので次の様な話をしてやつた。「次郎ちゃんと同じ様にいつも外に遊びに出てはお手を冷してゐた爲にお手が凍つてしまつた子供がありました。或日の事お父さまが御褒美に大さう甘しそうな菓子を下さいましたが手が凍つてゐるので擱む事が出来ませんでした、それで妹の花子ちゃんが喰べてしまひました」此話を子供は大さう興味を以て聴き、其後は手を冷す悪い癖が治つてしまつた由である。

次にお伽噺の時代になるが、今度は狭い日常生活から離れた思切り自由な想像生活を樂しむ。此時代は更に次期のロビンソン・クルソー時代と較べるに一層特色が明かになる。お伽噺では小人が現れたり魔法を使つたりして自然

の法則が全く無視されて居て、非現實的であるが、之に較べるに次の時代は現實的要素が多くなる。今までの様に遠い北の國等云ふ代りにイギリスから何百哩離れた大西洋上の何某云ふ孤島で云ふ風に地理的規定が明瞭になり、無人島で色々工夫して家を建て、道具を作り、狩をする事に、即ち魔術によらず科學的工夫をなす事に非常に興味を感じる様になる。又お伽噺の世界では馬鹿な息子でも主人公として登場し、他の援助によつて偉くなるが、次の時代には必ず偉い賢い英雄的なものが現れる様になる。之は子供の精神發達に關聯して居て小學校三四年から中學一年頃までは非常に現實的、客觀的になり、空想的なものを嫌つて機械いぢりが何より好きになる。

併し今はお伽噺の時代を考へよう。先づ登場人物から考察する。主人公は普ら子供自身である。結婚したりするが、飽くまで子供らしく振舞ふ者である。而して農夫の子か貧乏の子供か或は王子様だつたりするのが普通である。子供次に動物、或は石炭さか藁等の無生物も現れて來り、而も人間同様に話をし振舞ふ。又魔術者、一寸法師、巨人も

つきものである。斯る人物の性格は極めて典型的である。善いお爺さん、悪いお爺さん、美しい姉、醜い妹、賢い人、愚い人、怠け者、働き者云ふ風に對極的に現はされて居る。斯る性格描寫は最も原始的な方法で、物の特性を示すのに其反對物を持つて來るのは最も容易な方法である。大人の小説に於ては個性が描かれて居るがお伽噺では斯く唯類型が現はされて居るだけである。

次に斯く相反した人々は結局は善が惡に勝ち、正直が報ひられる様になる。即ち茲に子供の樂天觀が現れてゐる。所謂悲劇は子供には存しない。此歡喜懲惡には魔物が重要な役を占める。魔物は動物又は人間であるが其姿は奇異であり、其行爲は奇蹟的である。此魔物は常に切端詰つた時に現れる事になつて居る。故に魔物がお伽噺では話の中心となり、最も興味を惹くものとして現れて來る。

次に環境の描寫を見るに、王宮、小人國、黒い森等が多いが一般に環境の描寫は非常に簡單で、必要な場合にのみ述べられる。此點は大人の小説と全く異なる。近代小説には環境描寫が非常に詳細で、此環境の中に於て事件が合理的

に展開する。然るにお伽噺の世界では常に非合理、奇蹟が行はれるので環境は餘り問題にならない。乞食娘が一躍して女王様になり、而も今までの乞食としての身分に少しも影響されなくて女王になりすませる。此事は子供の持つ社會關係の意識が極めて簡單である爲で、斯る變化に對し不快な奇異を感ずる事無しに樂しめるのである。

グリムの童話では特に森がお伽噺の國になつて居るが、奥深い森林こそが最も自由な想像を馳らしめる場所であるからである。

次にお伽噺の出來事をみるに色々な事柄がある。イ、奇蹟(魔法をかけたたり、かけられたり)。ロ、英雄的行爲(力試し等)。ハ、結婚(それに伴ふ冒險)。ニ、智慧。ホ、其他命令の遂行、豫言への反抗等、種々あるが就中奇蹟的行爲が中心になつて居る。子供は何故奇蹟を好むか考へるに、第一に表象の變化を喜び、何か新しい事、珍らしい事を子供は人一倍喜ぶ爲であり、次に奇蹟によつて希望が自由に適へられる爲である。

事件の動きは氣まぐれであり、理由もなく他を征服した

りする。併し一つの事が起るに必ず其結果が續いて起り、善行に對しては賞として美しい女と結婚したり、富を得たり、王様になつたりし、悪い事をするに苦しめられ殺される。而して最後はハッピー・エンドに終る。

最後に事件の敘述法を見るに事件は個々の出來事として現れ、それが一本の線で貫かれて居る。全體を通して一つの豫言(命令)が流れて居る。例へば山羊のお母さんが外出する前に七匹の子山羊に次の言付けをしてをく。

「子供等よ、これからお母さんは外に出て食物を探して來ますから、狼に氣を付けて居なさい。狼を家へ入れてはいけませんよ。狼は體を化かして來るから注意してなさい。併し其荒い聲と黒い足に注意すれば見破れます。狼が這入つて來たら皆喰殺されてしまひますよ」この警告から話が始まるが、此警告から何が起つて來るか直ちに期待されるので子供はこれ以上の説明無しに次々の事件を理解する事が出来る。

其他子供の喜ぶ形式は異つた形に於ける反復である。善いお爺さんが爲したと同じ動作を悪いお爺さんも倣るこ

か、三人の人が同じ事を繰返して最後の人が成功する等の形式である。斯る場合には最初の人の行動によつて、次に來る人の行動が豫期されるので、其豫期通りになるに非常に満足するのである。

以上の如くお伽噺の人物、環境、事件、敘述法から考察するに大人の小説に子供のお話には非常に相違があり、子供の表象世界が明かに反映して居る。大人が考へた童話よりも昔から傳つて居るお伽噺の方を子供が喜ぶのは古代人の考方が子供の考へ方に近い爲である。此お伽噺の時代をビューラーは表象活動の自然的練習時代と云つて居るが、

此時には大人の作つた所謂爲になるお話よりも、子供の喜ぶお伽噺を思ふ存分聽してやる方がよい。非科學的になる等と心配する必要はない。其中に子供は斯る非現實的なものに飽いて、ロビンソン・クルーソーに熱中する様になるであらう、其時こそ批判的思考の練習時代である。

以上は子供の聽く話であつたが、最後に子供の話をも聽いてやらねばならない。子供は非常に話し度がる。人から聞いた話、経験した事件を全部話して了はねば承知しない。

彼は其心に浮んだ表象を吐出さないで腹が破裂しさうになるのである。普通三、四歳頃から語り始める。自分が聽いた話を一部分改めたり、挿入追加したり、或は全然別な話を創つたりする。五、六歳になるに自分の將來の事を話し始める、「大きくなつたら」と云つて色々な空想を述べる。併し初の中は明日と極近い將來の事しか述べない。過去の事を語る時によく子供は嘘言を云ふ。併し之は強い想像力のために歪められた記憶であつて、大人の嘘言とは全然異なる。之に就いては他日再び觸れる機會があると思ふ。

本誌前月號に於て廣告發表いたしました**幼稚園談話集**がいよゝゝ發行されました。皆様の座右に是非お備へ下さい。
(廣告參照)